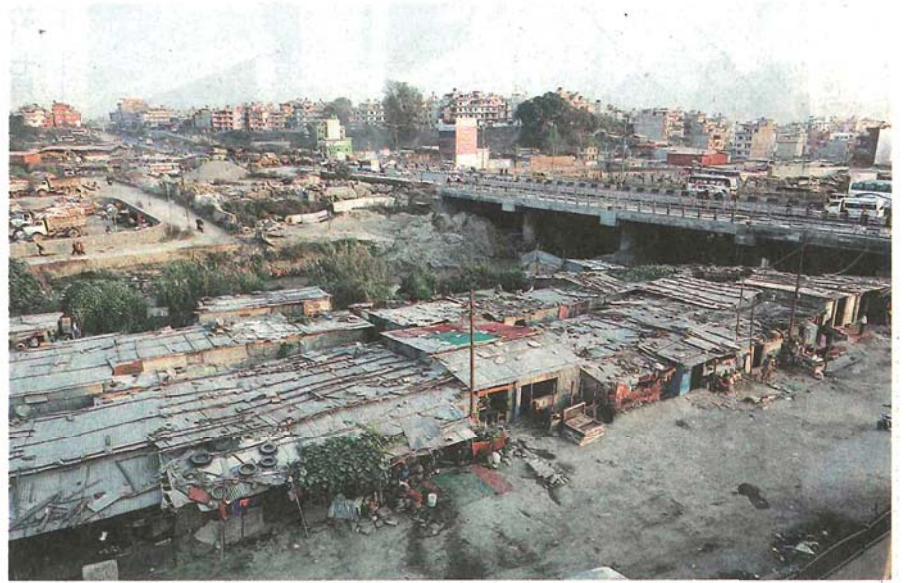


2020年(令和2年)7月8日(水曜日)



衛生環境の悪さが懸念されるネパールのカトマンズ市。コロナ感染者も増加傾向にある＝グラウンドワーク三島提供

衛生環境が悪く危機感

三島のNPOコロナ感染で寄付呼び掛け

ネパールの子に マスク届けたい

千人以上となっている。渡辺さんは、現地の衛生環境の悪さに危機感を募らせており「特に首都のカトマンズ市は水が汚く、手洗いで感染予防ができない。ネパールにはマスクがほとんどなく、欲しがる声が届いていない」と話す。

マスクは、カトマンズ市の学校などに提供する。渡辺さんは「『アベノマスク』や手作りマスクでも大丈夫。消毒液、せっけんも寄付してもらえたらうれしい」と呼び掛けている。

寄付は、〒411-0857 三島市芝本町六の二、GW三島事務局へ郵送か持参を。☎GW三島 055(983)0136

(杉原雄介)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ネパールの衛生環境改善に取り組んでいる三島市のNPO法人「グラウンドワーク(GW)三島」が、現地に贈るマスクの寄付を呼び掛けている。ネパールでは感染者数が増え続けており、渡辺豊博専務理事(左)は「感染リスクが高い中、命の危険にさらされている子どもたちを助けてほしい」と訴える。

GW三島は二〇一五年のネパール地震以降、ネパール・日本友好協会(山梨県大月市)と協力し、復興を支援。三島市内で環境保全に取り組んできたノウハウを生かし、杉のチップと微生物の働きで排せつ物を分解する「バイオトイレ」の設置、生活排水で汚れた川の清掃を進めてきた。

世界保健機関(WHO)のレポートによると、人口二千八百七十万人のネパールのコロナ感染者は一万五